

釧路管内の感染症発生状況 ヘルパンギーナが管内流行中

8月に入り暑い日が続いています。7月初旬からずいぶん暑い日が続きました。全国的にヘルパンギーナが大流行し、釧路管内も増加しています。他にも釧路管内ではダニ媒介感染症や結核なども発生しています。今回は大流行中のヘルパンギーナを取り上げます。

◆ ヘルパンギーナが流行中!! どんな病気?

6月から全国的に増加し、7月末には釧路でも警報が出ました。2019年にはそれなりに流行しましたが、コロナの大流行により20~22年まで、かなり感染者が減少。その影響のためか集団免疫が獲得されないことで2023年は過去10年間で最も感染が増加しています。主に乳幼児が罹患し、発熱やのどの痛みが出ます。特に口腔内の奥の方に両側性のアフタが見られます。原因ウイルスはコクサッキーA群ウイルス。潜伏期間は2~4日程度。

治療は対症療法のみ。口腔内の痛みのため摂食不良になりがちです。脱水予防が重要。

* 回復後でも2~4週間程度便からウイルスを排泄します。

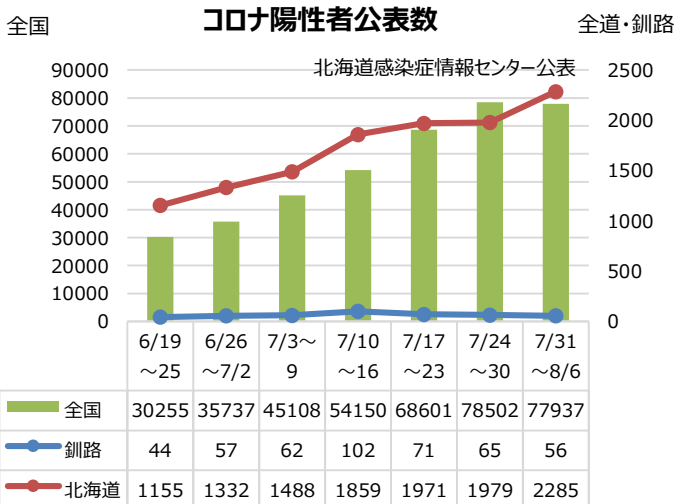
* 子供主体の病気ですが、大人も罹患し症状は同じです。

子供の3大夏風邪の一つ。他に、手足口病、プール熱

感染対策は?

感染経路は飛沫、接触感染です。この病気は特效薬がありません。接触感染対策には手洗いや手指消毒を実施。飛沫感染対策ではマスクの着用を。罹患後、数週間は便中にウイルスを排泄しますので、排泄後の手洗い、手指消毒をしっかりと行いましょう。大人が罹患した場合の就業制限はありませんが、感染拡大防止の観点から症状があるうちは出勤を控えるなどの対応も必要です。

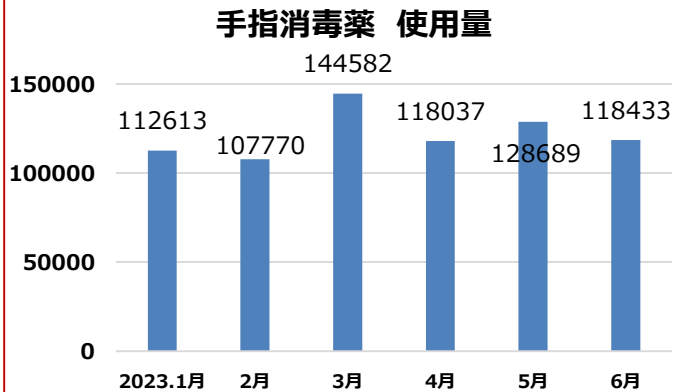
口腔内アフタが特徴



コロナが第9波に入ったかは不明ですが増加傾向は間違いありません。人流の増加や暑さによるマスク未着用は致し方ないのかもしれませんが。職員や家族の陽性も増加傾向です。個人でできる対策で自分自身を守りましょう。

手指消毒薬の使用量

最近、携帯していても消毒をしていない人や携帯すらしていない職員が散見されます。自身と患者を守るため手指消毒の徹底をお願いします。アンケートも実施しています。忌憚ないご意見をお待ちしております。手指消毒がしやすい環境を整えるようにしていきたいと考えています。よろしくお願いします。



新型コロナウイルス感染症及びその他の感染症対策のお願い

夏に流行する小児の感染症が増加中です。また、コロナもじわじわと増加中です。発熱や発疹などがある際には直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。症状が続く場合はかかりつけ医等にご相談下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いは1名までとさせていただきます。面会も引き続き原則禁止とさせていただきます。陽性の方は外出の自粛が求められます。症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。または、北海道新型コロナウイルス感染症 健康相談センターにお問い合わせ下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

